

G3 のツイッター その8

烈剛河内 竹井 保満

年を重ねると、一年が本当に早く矢のように過ぎてゆきます。今年ももう師走（しわす）、恥ずかしい話ですが、師走の語源を、物心がついてから今日まで、間違って解釈していました。人格教養のある落ち着いたお師匠さんでも、暮れの十二月は忙しいので、走るのだと思っていました。語源辞典を引いてみましたら、師は、お坊さんの事で、陰暦の十二月十九日から三日間、三世の諸仏の仏名を唱え、その年の罪障を懺悔し消滅を祈る法会のために、忙しくて、坊さんが走ったのだそうです。ちなみに、師走が付く者に、師走比丘尼、師走坊主、師走浪人、いずれの師走も、落ちぶれ、やつれたの形容詞でよい意味は無いようです。

現在では、ジングルベルが響き、年末年始の商戦で多忙な方がおられますが、私どもは、取り立てて大掃除をするわけでもなく、正月の用意もスーパーやネットショッピングで用が足りますし、慌ただしく走り回ることもありません。

私の師走は、藤井寺市長にお会いして、今年一年間の活躍を報告することが年中行事の終わりです。私どものジムの前身は、市の体育館で、どなたでも利用できるトレーニング場でした。2006 年今から 8 年前、市の計画で病院のリハビリテーションに利用するために、ベンチ台や、スクワット架や、デッドの床などを廃棄することが決まりました。筋トレをやっている者にとっては晴天の霹靂でした。市議会での決定ですから覆すことはできません。半年余りの嘆願や交渉や喧嘩の末、強力な議員の力添えもあって、やっとジムの立ち上げに至りました。無理難題をお願いした市に対して、一年の活躍を報告するのはごく当然の義務だと思っておりますし、ジムを起こした初心に帰れると思っております。今年度の報告は、マスターズのウェイトリフティングの優勝で頂いた、大阪府教育委員会からの表彰状を持っていき、市のスローガンでもある「小さくても、キラリと光るまち」に少しでも貢献できたと報告するつもりです。

今年は、沢山の方々に健康で呆けない年寄りへの話を聞いて頂きました。来年は、平和でよい年になればと祈っていますが、世界では紛争が絶えません。第一次世界大戦から 100 年、第二次世界大戦太平洋戦争が終わってから 70 年の節目の年にあたります。過去、世界の平和は 100 年も続くことはなかったと言われています。戦争体験者も年々少なくなってきました。私も戦争では、死に直面した、色々な経験をしてきました。来年あたりから資料を集め、戦争の最後の体験者としての語部に成ればと思っています。

来年も虻蛄（けら）の七芸に近づける様、憎まれ口を叩かれながらもトレーニングにも励みます。